

独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センターにて手術を受けられた  
患者様・ご家族の皆様へ

「薬剤師の周術期介入に向けたオンダンセトロン使用患者の  
PONV発症率調査」へのご協力をお願い

今回、独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センターに2023年4月1日から2024年3月31日の期間に入院され手術を受けられた患者様で、オンダンセトロンを投与された方の電子カルテ記録を調査させていただきます。

**研究の目的**

手術後の悪心・嘔吐(postoperative nausea and vomiting:PONV)は術後に発生する一般的な麻酔後合併症であり、手術された患者様全体の約30%が発症するとされています。患者様の医療費削減や苦痛軽減のためにPONV予防は重要となります。本研究では薬剤師がPONVリスクの高い患者様に早期介入を行うため、吐き気止めであるオンダンセトロンを使用された患者様のPONV発症状況を調査し、介入方法を探索することを目的としています。

**研究の方法**

- 対象となる患者様：2023年4月1日から2024年3月31の期間に舞鶴医療センターに入院されて手術を受けられた患者様で、オンダンセトロンを投与された方が対象となります。
- 研究方法について：電子カルテをもとに、患者様の情報（年齢、性別、背景、既往歴、薬歴、術式名、手術時間、術後所見など）を収集します。これらの情報をデータベース上で分析し、結果を学会発表にて公表します。本研究は電子カルテにて作成された記録を調査する観察研究であり、患者様への直接的な関わりはないため、いかなる利益・不利益も生じません。
- 情報の利用と管理：得られた情報は舞鶴医療センター（責任者：多田純平）にて利用されず。情報は全て匿名化され、個人が特定されることはありません。また、研究発表が公表される場合も個人が特定されることはありません。

情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。なお 2024年12月31日までに申し出がなかった場合には、参加を了承していただいたものとさせていただきます。

本研究は、舞鶴医療センター倫理委員会において、適切な研究であると承認されています。ご希望があれば、個人情報保護及び本研究の独自性の確保に支障がない範囲内で、研究計画及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧することができますので、お申し出ください。この研究についてご質問がある場合は下記までご連絡ください。

連絡先: 独立行政法人国立病院機構 舞鶴医療センター  
薬剤部 多田 純平 (ただ じゅんぺい)  
電話: 0773-62-2680